

## 国際私法学会理事会議事録

日時: 2018年10月4日提案・同年10月8日決定

方法: 電子メール

送信先: 理事・監事全員

結果: 理事長より下記の審議事項中の議題についての提案を全ての理事及び監事に通知し、その議題について議決に加わることのできる理事全員が賛成し、かつ、監事が異議を述べなかったことから、定款29条3項本文により、原案通り可決された。

### 記

**【審議事項1】** 村上正子氏の入会を総会に諮る件

**【審議事項2】** 2019年6月の研究大会では韓国国際私法学会から5名程度の同会員をお招きして、国際裁判管轄に関するシンポジウムを企画中であり、今後、研究企画主任により国際私法学会として外部資金への助成申請を行う予定であるところ、その結果のいかんにかかわらず、少なくとも韓国からの報告者の名古屋での宿泊費と懇親会参加費を国際私法学会の負担とする件

**【審議事項3】** 以下の通り、次期の理事・監事選挙等を行う件

■2019年1月上旬:

・理事長から、任期を満了する理事及び監事からの次期の理事及び監事に関する意見聴取(アンケート)の発送。

■2019年1月中旬:

・理事及び監事からの回答の返送(無記名で、次期の理事及び監事としての適任者20名以内を記載)。

■2019年1月下旬:

・理事及び監事からの回答の開票(理事長のほか、少なくとも、監事のいずれか1名又は監事が指名する会員1名の立会い)。

■2019年2月上旬:

・開票結果に基づき、次期の理事及び監事の候補者名をその得票順に並べたリストを作成。  
・上記リストを提示しつつ、会員からの意見聴取(アンケート)の実施(暗証番号等により会員以外からのリストへのアクセスを制限して行う)。

■2019年2月下旬:

・会員からの回答の返送(無記名で、リストに対する意見を事務局宛の郵便により行う)(発信元の秘匿は会員の側で行う)(同一の会員による重複した意見表明を回避するため会員からの投票に際して一定の条件を課す)。

■2019年3月:

・会員からの回答の開票(理事長のほか、少なくとも監事のいずれか1名又は監事が指名する会員1名の立会い)。

(■2019年4月上旬:総会及び研究大会の会員への郵便物発送)

■2019年4月:

- ・理事長から理事会へ、次期の理事及び監事候補者リストに対する会員から表明された意見の報告。
- ・理事長から理事会へ、総会に参考案として提示する次期の理事及び監事の候補者リスト案(理事候補者と監事候補者とは区別したもの)を提案。
- ・理事会として、上記リスト案の決定。

■2019年6月15日(土):

現在の理事会:

- ・総会に提示する次期の理事及び監事の候補者案の決定

総会:

- ・理事会による総会への次期の理事及び監事の候補者案の提示
- ・総会による理事・監事選挙

新理事会:

- ・理事長選挙

**【報告事項】 2018年6月の研究大会以降の国際私法学会の諸事業についての進捗状況に関する各主任からの報告の件**

**【中西会計主任からの報告】**

■収入の部:

会費収入について、予算では123万円が計上されているところ、9月25日時点では昨年同時期とほぼ同額の約110万円の払込があった。

■支出の部:

年報費に関して、第19号分を支払い済み。

研究大会費に関して、第131回大会分を支払い済み。

なお、2020年4月1日からのゆうちょ手数料値上げのお知らせがあった。

1. 払込手数料

130→200円

80→150円

⇒学会の手数料負担が少し増えます。

(2. 振替受払通知票の通知: 郵送は無料から108円/1通になるが、うちは、Web照会サービスにしたので関係ない。Webは引き続き無料。)

**【神前研究企画主任からの報告】**

別添1の通り。

**【出口雑誌編集主任報告】**

別添2の通り。

**【高杉ホームページ運営主任報告】**

- ・年報16号(2014年)の電子化・ホームページへのアップロード作業に着手した(現在、pdf化の作業を行っているところである)。

- ・ ホームページの全面更新のための検討作業に着手した(現在、委員会において意見を集約中である)。

#### **[織田研究大会(2019 年度)設営主任報告]**

- ・ 研究大会設営委員会の的場委員が在外研究で不在となるため、伊藤弘子会員が後任の委員に就任した。
- ・ 2019 年度の研究大会は、2019 年 6 月 15 日(土)・16 日(日)に「ウインクあいち(愛知県産業労働センター)」「名古屋駅前)において開催する(懇親会は 6 月 15 日(土)18:00~20:00 に「キャッスルプラザ」1F「ローズガーデン」)で開催。

#### **別添 1: 研究企画委員会進捗状況(報告)**

2018 年 9 月 25 日  
国際私法学会研究企画委員会  
委員長 神前 禎

今回の研究大会に向けての研究企画委員会の準備が遅れておりますことをお詫び申し上げます。その上で、標記の件につき、下記のようにご報告申し上げます。

#### **(1) 第 132 回(2019 年度)国際私法学会研究大会における韓国国際私法学会との合同シンポジウムの実施について**

日本および韓国の先生方に仲介していただき、韓国国際私法学会で国際交流を担当している、이규호教授(Prof. Dr. Gyooho LEE)と話し合いを進めているところである。現在、学会初日の 6 月 15 日全てを使って合同シンポジウムを実施すること、韓国の国際裁判管轄法制の展開を取り上げるが、テーマをそれに限定せず実施することを決定し、具体的な人選およびテーマについての相談しているところである。また、先方は、かなり大規模な招待を期待しているようにも見受けられるが、当方としては、2015 年に韓国で交流を実施した際に日本側の研究者 5 名が韓国に参加したことを参考に、それとそれほど変わらない規模の方を招待したいと考えており、その点についても相談を進めている。

#### **(2) 第 132 回(2019 年度)国際私法学会研究大会におけるその他の報告について**

学会の 2 日目においては、通常通り、個別報告およびシンポジウムを実施する予定である。個別報告については、候補者のリストアップをほぼ終了し、優先順位を定めて順に報告依頼を行う予定である。より多くの会員に報告の機会を与えつつ報告の質を保つことを目標としているが、他方、現在、若手の報告候補者が必ずしも多くはないことは確かである。

シンポジウムについては、現在、各委員からテーマの案を提示してもらっている。それを踏まえて委員会で議論をし、テーマを決定する予定である。

#### **(3) 第 132 回(2019 年度)国際私法学会研究大会における公募の実施について**

全体に準備が遅れているが、特に公募の実施については、実施要項を確定したにもかかわらず、その文書の公表をお願いすることを失念してしまい、公募をこれから実施することになってしまった。研究企画委員長として考えられないミスであり申し訳ない。

理事会で認めていただいた実施要項の内容はそのままとし、日程を遅らせて、10月19日(金)を締切として公募を実施し、11月19日(月)までに結論を出すこととしたい。

#### (4) 第133回(2020年度)国際私法学会研究大会について

第133回大会については、次期の研究企画委員会で議論するのが原則であろうが、研究企画委員の一部から今期において検討することはできないか、との示唆をいただいている。今後、今期の研究企画委員会で議論した上で、提案をさせていただく可能性もある。

### 別添 2: 国際私法年報編集状況(報告)

2018年10月1日  
国際私法年報編集委員会  
委員長 出口耕自

#### I 国際私法年報 20号進捗状況

##### 特集

- ・ 横山潤「扶養義務の準拠法に関する法律再考」(査読終了)
- ・ 村上正子「扶養義務の国際裁判管轄の立法をめぐる動向とその評価」(未提出・督促中)
- ・ 岩本学「外国扶養裁判の承認執行制度の現状と課題」(査読終了)
- ・ 池田綾子「国際扶養をめぐる実務的諸問題」(査読中)

##### 学会報告より

- ・ 多田望「法律回避とその周辺」(未提出・督促中)
- ・ 山口修司「仲裁法における国際私法の特別規定」(査読中)

##### 投稿

- ・ 井上泰人「準拠法と既判力の客観的範囲について」(査読中)

##### 学会報告概要

一名のみ未提出(督促中)

※論説未提出者2人には、9月9日最終〆切としたところ、お1人から「10月10日には必ず」という返答あり。その関係でもうお1人にも10月10日まで待つ予定。

#### II 国際私法年報 21号進捗状況(学会報告順・題名も学会報告時のもの)

- ・ 中村知里「インターネット上での人格権侵害の国際裁判管轄—日本法における解釈の検討を中心に—」(依頼・承諾済)
- ・ 金美和「代理商契約の準拠法について—EUの裁判例を中心に—」(依頼・承諾済)
- ・ 村上愛「契約に関する準拠法」(依頼・承諾済)
- ・ 駒田泰士「不法行為・事務管理・不当利得に関する準拠法」(依頼・承諾済)
- ・ 国友明彦「物権・債権譲渡に関する準拠法、条文化が見送られた事項」(依頼・承諾済)
- ・ 阿部耕一「実務家から見た通則法10年」(依頼済・諾否未)
- ・ 野村美明「施行10年を経た法の適用に関する通則法<コメント:研究者から見た通則法10年>」(依頼・承諾済)

- ・ 釜谷真史「外国判決承認執行要件としての公序の「個別具体的」審査 —代理出産に関する平成 19 年最決を契機として—」(依頼・承諾済)
- ・ 不破茂「反競争制限法分野における法適用の方法論的考察 —公法的法規範の適用関係における方法的深化をめざして」(依頼・承諾済)
- ・ 森下哲朗「グローバル資本市場と金融取引」(依頼・承諾済)
- ・ 増島雅和「ブロックチェーン技術を用いた仮想通貨とスマートコントラクト—その私法・国際私法上の論点と課題」(依頼済・諾否未)
- ・ 竹下啓介「現代社会における情報に関する自由と国際私法」(依頼・承諾済)
- ・ 小塚荘一郎「宇宙ビジネス法の構造と課題」(依頼・承諾済)

※諾否未定者には再度確認中。

以上の通り相違ありません。

2019年1月28日

議事録作成者(理事長):

道内 正人

議事録署名人:

中西 康